経営比較分析表（令和5年度決算）

熊本県　玉名市

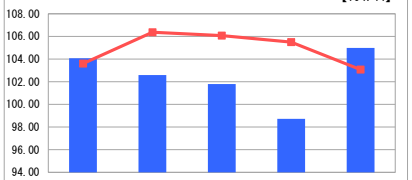
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	64.22	10.80	100.00	3,613

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
63,537	152.60	416.36
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
6,805	3.66	1,859.29

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

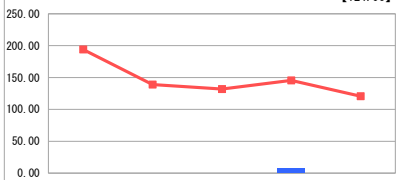
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【104.44】



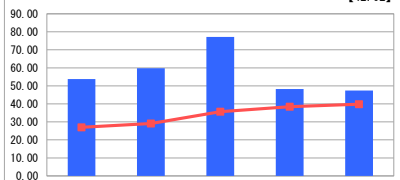
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	104.08	102.59	101.79	98.72	104.99
平均値	103.60	106.37	106.07	105.50	103.07

②累積欠損金比率(%)　【124.06】



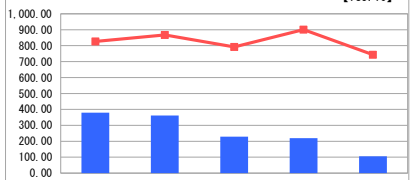
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	6.87	0.00
平均値	193.99	139.02	132.04	145.43	120.64

③流動比率(%)　【42.02】



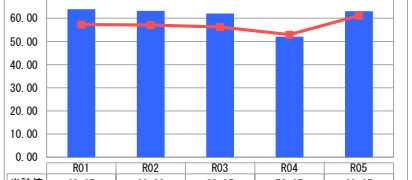
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	53.77	59.81	77.20	48.20	47.42
平均値	26.99	29.13	35.69	38.40	39.82

④企業債残高対事業規模比率(%)　【785.10】



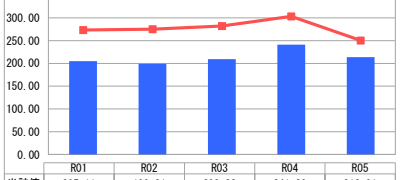
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	379.47	361.68	228.94	219.06	105.75
平均値	826.83	867.83	791.76	900.82	743.31

⑤経費回収率(%)　【56.93】



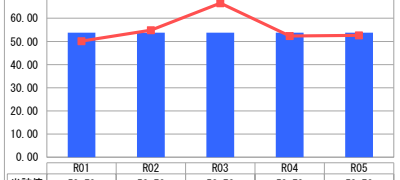
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	63.95	63.23	62.05	52.07	63.05
平均値	57.31	57.08	56.26	52.94	61.15

⑥汚水処理原価(円)　【271.15】



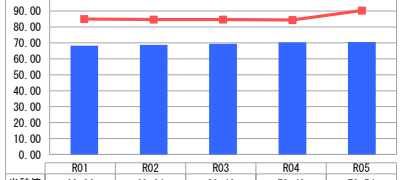
	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	205.11	199.21	209.22	241.29	213.81
平均値	273.52	274.99	282.09	303.28	250.43

⑦施設利用率(%)　【49.87】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	53.78	53.78	53.78	53.78	53.78
平均値	50.14	54.83	66.53	52.35	52.63

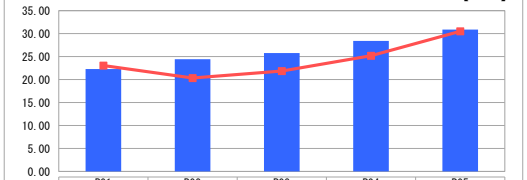
⑧水洗化率(%)　【87.54】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	68.26	68.84	69.46	70.40	70.54
平均値	84.98	84.70	84.67	84.39	90.32

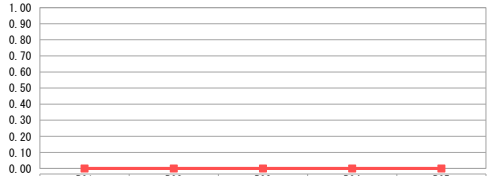
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【28.42】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	22.29	24.43	25.77	28.43	30.86
平均値	23.06	20.34	21.85	25.19	30.50

②管渠老朽化率(%)　【0.08】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③管渠改善率(%)　【0.02】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.02	0.25	0.05	0.03	0.02

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経営の健全率を示す経常収支比率は、光熱水費や修繕費などの費用の減少に伴い100%を上回りました。累積欠損金も解消しましたが、依然として基準外繰入金の割合の高い厳しい経営状況であるため引き続き経営改善に取組んでいく必要があります。
・流動比率は、全国平均及び類似団体平均値より高いものの100%に届いておらず、短期に現金化できる資産で短期負債を賄えていないため支払能力を高めるための経営改善が必要です。
・企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体平均値を大きく下回っているものの債務弁済財源の確保が厳しい経営状況にあります。
・経費回収率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っているが、事業に必要な経費を使用料収入で賄えておらず、依然として繰入金に依存している状況です。安定経営に向けて使用料の適正化に努めていく必要があります。
・汚水処理原価は、全国平均及び類似団体平均値より低く推移しているが、経営状況を考えると更なる投資の効率化や維持管理費の削減、接続率の向上に努めていく必要があります。
・施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っているが、今後も処理場の非効率性を検証し、適切な施設規模を維持する必要があります。
・水洗化率は、全国平均及び類似団体平均値を下回っており、引き続き接続勧奨を進め、適切な使用料収入と施設稼働を確保していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っており、増加傾向で推移しています。老朽化が進んでいる施設等の更新と適切な維持管理により下水道の機能確保に努めます。
・管渠老朽化率、管渠改善率は、対象となる老朽化管渠がないため0%となっています。本指標から老朽化についての懸念材料は検出されていません。

全体総括

・令和2年度農業集落排水施設最適整備構想及び令和3年度農業集落排水事業経営戦略のそれぞれの計画に基づいて事業運営を行っています。現状は、使用料収入だけでは維持管理費を賄えておらず、基準外の繰入金に依存した厳しい経営状況ではありますが、今後も処理場の改築更新等の大型事業が控えているため、今後も安定経営に向けて、効率的な施設整備と使用料の適正化の検討のほか、接続勧奨の推進に努め、経営基盤の強化に取組んでまいります。